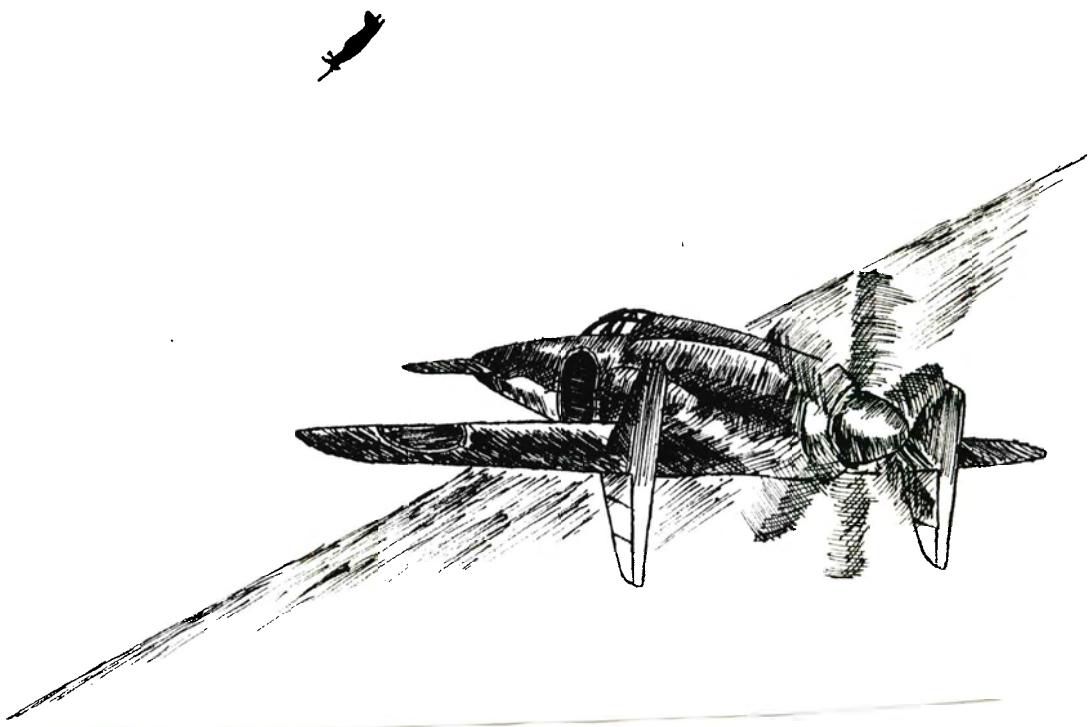


PRINCIPALITY
OF ISABERIA
NAVAL
AIR COMMAND.
第7回結果発表！



九州十八試局戦

「震電」

in 日本海軍

by YAWAGOLOW

☆戦況報告

メルカツ大将：最悪だ。何かのせいで、レーダーがまるで役に立たん。作戦による損害は今まで最悪だろう。…それにしても、さすがに米軍は手強いな。今までのような、イエールのウスノロ共とは訳が違う。なかなか戦果は上げられないようだ。ご苦労だった。

☆次回作戦

大将：もういつぺん、米軍の機動部隊を襲う。今回は、全部隊が一斉攻撃することによって、敵の防御能力を飽和させることを狙う。平たく言えば「ヘタな鉄砲もなんとやら」ということだな。今度こそ確実に仕留めろ。そうでないとこの戦争、勝ち目は無くなるぞ。それに今度の作戦が終了したあと、本官は本国に戻らねばならない。わがドイツ帝国の戦況が、いよいよ危ういのでな。最後はやはり、勝利で飾らせてくれ。

それからだな、今回は正規軍の空母航空部隊も参加する。彼らは皆、正規軍の中でも相当に経験を積んでいるベテランだそうだ。特に制空は彼らに完全に依存することになる。彼らとは、とにかく仲良くやってくれ。

神のご加護が諸君にあらん事を。

◇今回の編成

1st F I S … 護衛	1st F E S … 護衛	1st F B S … 爆撃
2nd F I S … 護衛	2nd F E S … 護衛	2nd F B S … 爆撃
3rd F I S … 護衛	3rd F E S … 護衛	3rd F B S … 爆撃

※前述にもある通り、全機が一斉に攻撃を行います。攻撃時間（昼／夜）は戦局により変化します。夜戦装備の無いものについては、今月に限りAセットが無料で貸与されます。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:スコア OP:作戦参加回数)

プレイヤー名	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	P	O	P	階級	状態	機体	Sqn.
岬当麻	0-32	×トマン	福留 功男								中尉	戦死	1	I
	月光	バストエンペラー	恭塚 まさ子	他1名	0	0	4	5	5	大尉	生還	少破	1	E
	Fw187	ゴースト・ファルケ	本居 鷹一	他1名						少佐	戦死		1	E
	5-1Z	コアファイター	セイラ・マス		0	0	4	2	2	准尉	生還	少破	1	I
	5-1Z	Z・コアファイター	ルー・ルカ		0	0	9	2	2	准尉	生還	少破	1	I
Y A S	波冷彗星	ふりーほーる	山田 次郎	他1名						中尉	戦死		1	B
	波冷彗星	ハレーズ コメット	ビスマルク	他2名						中尉	戦死		1	B
	紫電	—	ウンカー 司馬遷		0	0	3	2	2	准尉	生還	少破	1	I
	紫電	—	フリードリヒII							中尉	戦死		1	I
	雷電	—	完顔阿骨打		0	0	4	2	2	准尉	生還	少破	1	I
	Me163	ジェット君	鈴木 太郎		0	0	4	2	2	准尉	生還	中破	防空	
	1式陸攻	フルーツ=ボンチ	ヨーゼフII	他6名						准尉	戦死		1	B
遠藤誠	0-32	曙式號	平賀 讓		1	0	3	2	2	准尉	生還	少破	2	E
	0-32	Gray Hound	滝川 隼人							中尉	戦死		2	I
	190F3	—	エイリッヒ=シュパングラー		2	0	4	2	2	准尉	生還	少破	2	I
鈴木敬純	0-21	台北航空隊	坂井 二郎		3	0	2	5	4	中尉	軽傷	中破	2	I
	0-21	台北航空隊	坂井 淳二							大尉	戦死		2	I
菅原忠幸	0-32	ウイングナイト	ラブト・ファイバー							大尉	戦死		1	I
	0-32	妖魔	ロギン・ルカ							中尉	戦死		1	E
	0-32	紅花	アカネ・ミズハラ		1	0	7	4	4	准尉	生還	少破	1	E
	190F3	チェックメイトIII	ボーン・チュリアス		2	0	1	0	4	少尉	軽傷	中破	1	E
	Bf110	R & F	ラリー・ミティウム	他1名						大尉	戦死		1	B
	99爆	王虎	リー・ツァイリン	他1名	0	1	4	2	2	准尉	軽傷	中破	1	B
	99爆	双竜	仔ロー・サトウ	他1名	0	0	2	3	7	少尉	戦死		1	B
	99爆1丙	流星	リュウ・シキフネ		0	0	1	9	7	少尉	生還	少破	1	I
篠原崇	0-32	Queen Godess	神 弥生		1	0	3	2	2	准尉	生還	少破	2	E
	190F3	エルフリードMk II	ベルフィービー							大尉	戦死		2	E
	190F3	火炎魔神Mk II	神 亜由美							大尉	戦死		2	E

	190F3	Diamond White	シーラ=エル=クリスティナ				中尉戦死	2 E
	190F3	ハロ	フラウ・ボウ				中尉戦死	2 E
	190F3	ブルーサファイア	エル=プライス	1	0	1 1	4 少尉軽傷	大破 2 E
	190F3	ぶるぶるぶるぶる~♪	エルピー・プル	0	0	1 0	4 准尉生還	少破 2 E
	190F3	鳳凰翠玉	レジーナ・プライス				中尉戦死	2 E
	飛艦1丙	第七官界彷徨改	尾崎 碧				大尉戦死	2 E
河村芳行	190A4	—	アルフレッド・ハルトマン	1	0	9	4 准尉生還	少破 1 I
	190A4	—	ジョン・ドミトリー				中尉戦死	1 I
	190A4	—	立花 蒼月	0	0	1 3	4 少尉軽傷	撃墜 1 I
	190A9	—	河原 雪華	1	0	1 8	4 少尉生還	軽傷 1 I
	190A9	—	楠 高雄				大尉戦死	1 I
藏田昌弘	0-32	—	メイシア・アクツニー				中尉戦死	1 I
	190F3	—	西恩寺 明	0	0	9	4 少尉重傷	中破 1 B
	He219	ボールは友達	大空 翼	0	0	3 4	4 中尉軽傷	中破 3 I
越智俊彦	0-32	ごくろうさま 1	M I K E	0	0	1	1 准尉生還	中破 1 I
	0-32	ごくろうさま 2	T O R A	0	0	1	1 准尉重傷	大破 1 I
	0-32	ごくろうさま 3	T A M A				中尉戦死	1 I
秋信敏男	190F3	—	D. Ritchie				大尉戦死	3 B
	190F3	—	J. E. Warnock	0	0	2 1	7 少尉重傷	大破 1 I
	190F3	—	M. Jaeger	0	0	1 7	5 少尉軽傷	大破 3 E
降矢浩己	0-32	アルカディア18改カスタム	ハーロック	0	0	1	1 准尉軽傷	中破 2 E
	190F3	アルカディア703	加藤 亜希子				大尉戦死	2 B
	190F3	アルカディア706	木村 勢津子				大尉戦死	2 E
	Bf110	アルカディア710	石見 直子	0	1	9	3 准尉生還	大破 2 B
	Bf110	アルカディア711	泉谷 有美	他1名			中位軽傷	2 B
	99艦爆	アルカディア707	松井 綾	0	0	4	3 准尉生還	少破 2 B
	飛艦1丙	アルカディア701改Mk-2	ラインハルト				大尉戦死	2 E
	飛艦1丙	アルカディア705	ミッターマイヤー	0	0	2 3	3 少尉軽傷	中破 2 E
	飛艦1丙	アルカディア709	ジークフリート キルヒアイス				大尉戦死	2 B
	Bf110	アルカディア702	降矢 浩己	他1名			少尉	拒否
	Bf110	アルカディア708	大久保 直美	他1名			少尉	拒否
安倍唯	0-32	トリスタン	グラーケントンソン				中尉戦死	1 I
	0-32	バルバロッサ	プリストハイデガー	0	0	3	2 中尉軽傷	中破 1 I
	0-32	ペイオウルフ	シリビア・アクシズ	1	0	3	2 中尉生還	撃墜 1 I
阿曾喜徳	0-32	知床号	平川 鉄五郎				中尉戦死	1 I
	0-32	富士号	横江 勝男				中尉戦死	1 I
	0-32	羊蹄号	山城 兵衛	0	0	4	3 准尉軽傷	中破 1 I
中居浩一	0-32	ケロヨン	高辻 陽介	0	0	1	1 准尉生還	無傷 1 I
	0-32	—	イヴァン・カペリ	0	0	1	1 准尉重傷	撃墜 1 I
	0-32	—	大槻 剛	1	0	2	1 准尉重傷	撃墜 1 I
	0-32	—	杉下 貫之	0	0	1	1 准尉軽傷	少破 1 I
	0-32	—	中居 浩一	0	0	1	1 准尉軽傷	大破 1 I
高橋慎哉	190F3	—	速水 泷貴	1	0	2 7	7 中尉重傷	撃墜 2 E

☆略号解説

1式陸攻…1式陸上攻撃機 2 2型 潜水艦…海軍航空技術廠 3式艦上爆撃機「彗星」 1 1型

96艦爆…9 6式艦上爆撃機 99艦爆…9 9式艦上爆撃機 2 2型 月光…海軍夜間戦闘機「月光」

5-1Z…5式単座戦闘機 1型乙 紫電…4式局地戦闘機「紫電」 1 1型

0-21…零式艦上戦闘機 2 1型 0-32…零式艦上戦闘機 3 2型

2式大艇…2式大型飛行艇 1 2型 疾風…4式単座戦闘機「疾風」 甲

飛艦1丙…3式単座戦闘機「飛燕」 1型丙 雷電…2式局地戦闘機「雷電」 2 1型

Bf110…B f 1 1 0 G – 4 Fw187…F w 1 8 7 A – 0 Me163…Me 1 6 3 B – 0
He219…H e 2 1 9 A – 0 / R 1 ウーフー 190A4…F w 1 9 0 A – 4
190A9…F w 1 9 0 A – 9 190F3…F w 1 9 0 F – 3 / T r o p

☆状態欄解説

生還…文字通り。 軽傷…ちょっととした怪我です。 重傷…文字通り。この場合に限り、治療費以外は無料で作戦を回避できます。 戦死…文字通り。

☆機体欄解説

無傷…文字通り。 少破…ちょっとしたダメージです。 中破…少し痛いダメージです。 大破…2度と使えません。 撃墜…文字通り。 墜落…燃料切れ他、敵の攻撃以外による機体喪失。

PCリプレイ

1943年3月某日、第1波攻撃隊。遂にミッション開始の命令が下る。相手が強力な米軍機動部隊ということもあり、否応無しに気分も緊張してくる。

正規軍の、深緑色に塗られた100式司偵がまず最初に離陸すると、続くように第1護衛戦闘機飛行隊が離陸。隼が多い。その中でまつ黒に塗られた月光は、異常に目立っていた。

「あんなでけえの中尉だってよ。信じられるか？」「何でも戦闘中は性格変わるって話しだぜ」

そんな会話が交わされるが、離陸すると彼らも、さすがに無口になる。

発進後10分ほどで、正規軍の1式陸攻隊と合流。それから30分ほどたって、目標を発見した。

「上方敵機！回避行動！」

誰かがそう無線で怒鳴ると、たちまち雲の子を散らすように機体が散らばる。混乱の中、護衛隊が急上昇して迎撃する。

敵は米海軍の、F4Fだった。反応のタイミングは悪くなかったが、上空を押さえられていたのがまずかった。たちまちロギン・ルカの零戦、本居鷹一／九頭龍イネのFw187が火の球と化す。迎撃した護衛隊を突き抜け、急降下を続けて降りかかってきた彼らは、タテ続けに1式陸攻をむさぼる。リー・ツアイリンの操る99艦爆は、そんな中、上手い具合に逃げ切って急降下、「エンタープライズ」の甲板に爆弾を放ったが、狙いは外れてすぐそばのイエール海軍の駆逐艦に命中した。西恩寺明のFw190は、上空から同じように急降下し、「カンピア・ベイ」の甲板上の艦載機に銃撃を加えようとしたが、艦の対空砲火を避けながらの艦上掃射であり、まったく戦果は無く、彼自身は貫通した20mm弾で重傷を負い、機体もかなりの弾を浴びて中破した。

結局、第1波攻撃では大したダメージは与えられなかった。

(本居こじ)

Official Short Story.

イザベリア軍合同ビル内、機体調達部。

会計本部長：ちょっとこの投書の束を見てくれ。

機体調達部長：何だ、人のオフィスに乗り込むなり一体…何、機体のバリエーションが少ない？クソいまいましい傭兵どもめ、米軍にコテンコテンにやられたくせに…

会：そう言うな。何か用意してやってくれよ。この前の修理費と治療代の一件があつて以来、俺のところにや毎日々カミソリが山のように送り付けられるんだぞ。

機：憲兵を使って調査させればいいじゃないか？

会：そんな事してみろ、連中みんなイエールに亡命するぞ。

機：…仕方ない、なんとかしてみよう。

会：頼む。

岬：何が追加されるかはお楽しみ…

試行錯誤穴埋め企画！

スタッフの機体放談 & 内輪話

菊地：…て訳で、2ページも余っちゃった。イザベリアの方は、みんなオクテだから。イエールだとプレイヤーからのショートストーリーで埋まるんだけどねエ。

正宗：そんな事で困ってるのか。ならば、P Cのリプレイをもう少しやればいいだろう。

第2波の分もやるとか…

菊：おまーなあ、元々そんなに細かいリプレイ作れるような程の処理プロセスじゃないところから、俺が必死こいて脚色して、ようやくあれだぞ！あれだって予備校の基礎解一つ、まるで聞かないでやってたんだからな！

岬：そして君は浪入の道を…

菊：てえええい！止めるか！場が白ける!!

正：それにしても、何と言うか、イザベリア側の参加者はトクだな。結果として、イエールには無いコーナーを目にすることができた。

岬：内容によるだろ。

菊：そりやお前ら次第だよ。

正：だあ！好い加減にせんか、これは機体放談なんだろうが。このままでは2ページ全部、クソ面白くも無い駄バリになってしまってはいけない！

菊：（この野郎、仕切りやがって）…なんだんだ、んじやまテーマを決めよう。とりあえずここに、文林堂の「アメリカ海軍空母」という本がある。こいつのお陰で俺はもう一文無しだ。

岬：一体どうすりやそうなるんだよ？

菊：そんなこた、どうでもいい。実はだな、この本によると、A Sでの今頃は、太平洋で作戦可能だった空母はエンブラー隻だけだったらしい。

正：ぬわに？

岬：マジか、それ？

菊：ああ。それに参加者からも指摘があったんだが、ほかの例の3隻の護衛空母は、未だ就役もしていない。

岬：何だと!?じゃ今の戦線にあるのは、エンブラー隻だけ…？おい正宗、いかんなア、ウソをついちゃあ。

正：そ、それはだなあ、ムー大陸の文化を受け継ぐイエールの民がだな、あの種の護衛空母の有用性に着目してだな、はじめ自国で作り、その後戦略が変わって要らなくなり、米軍に与えたというわけだ。これでどうだ？

菊：かなり無理があるが、まあいいとしよう。どうせメカの登場時期は、制式のものについてはほとんどそのパターンで無視してるんだから。

岬：なんだな。「疾風」のとき、お前何つったか覚えてるか？「これはイザベリアの技術陣が設計したのを、日本陸軍が後で買って中島に作らせたんだ」…だぜ。参るよなー、都合のいいときだけムー文明持ち出して。

正：あ～なたも私もムー文明♪（身振り付き）

岬：止めろよ、気色悪い。

菊：仕方ないじゃないか、「ムー文明に不可能はない」がベースになってるから、あの機体申請だって可能になったんだぜ？それ無きゃ「架空の機体でもOK」なんて言えないよ。

岬：そりやま確かに。それにしても何で場所がフィリピンなんだよ。イエールなんかボルネオだぜ。俺、このところずっと疑問だったんだが。

正：単に新しく設定して、白地図に島を描くのが面倒だった…違うか？

菊：（ミもフタも無い奴だな）…あのなあ。それもあるが、この後のシナリオで、地理的条件が劇的に変化するんだ。それこそ正宗なんぞ、目をむくような変化がな。その時になるべく影響の少なそうなところを選んだら、あの辺になったんだ。わかるか？

正：とりあえず解った事にしておこう。

菊：そう、とりあえずでも何でも、わかった事にしてくれ。でないと話がまとまらん。

岬：（唐突に）あ、そうだ。ようやく思い出した。

菊：何だ？

岬：いやさ、この前何かに書いてあったんだが、ムー文明にも不可能はあったらしい。

菊：本当か？何だ？

岬：地震予知とか、内燃機関とか…

菊：そりやお前、実際の話だろうが。ゲームと事実は多少ギャップがあった方がいいの。

岬：そんなもんか？

菊：でなければこのゲーム、そもそも米軍がイザベリアに上陸して終わりだろうが？そんなハナから結末が解ってるようなゲーム、だれも参加しないよ。それにムーだって、何らかの形で存在すれば、内燃機関ぐらいの情報は得てるがな。そこから発展させれば…

岬：わかった、わかった。

正：そうすると、イエールはタダのやられ役か？俺はいやだぞ、マル受は…

岬：何かヒワイな言い方だなあ。

菊：止めろよ。同人わからない人の方が大勢なんだから。

岬：ならこの俺が皆を同人の世界へ引きずり込んで…

菊：止せっての。俺はそんな事は、A Sでは認めない。

岬：じゃ他ではいいのか？

菊：そのうち“Browers”が出るだろうが。そっちなら、なんぼやってもいいよ。読者が許すかぎり。

岬：わかった。じゃこの場ではホコを収めるとしよう。

菊：そうしてくれ。…まあそれはそれとしてだ、今後の戦況進展なんて、おまいさんたちのマスタリング一つにかかるわけだ。おまいさんたちそれぞれの軍を、傭兵と正規軍と一緒に動かしてる、現在のシステムでは。正宗はそれで、戦略変えたんだろ？

正：ああ。

岬：げ！マジかよ。

菊：つまりはそれ次第ってことだ。すべては今後の2人の、それぞれの対応次第だよ。

…んじやま、そろそろ2ページ埋まるころだ。帰るとするか。

岬：今日は宇垣は一緒？

菊：もう帰ってるよ…（この時5時半。私たちは、学校の違う宇垣との処理等打合せのために、4時リミットで、ある場所で待ち合わせしています）こんな時間だもの。さ、帰ろ。

※ご意見等、お待ちします。